

■平成 29 年度事業報告書■

一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟

I 事業期間

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

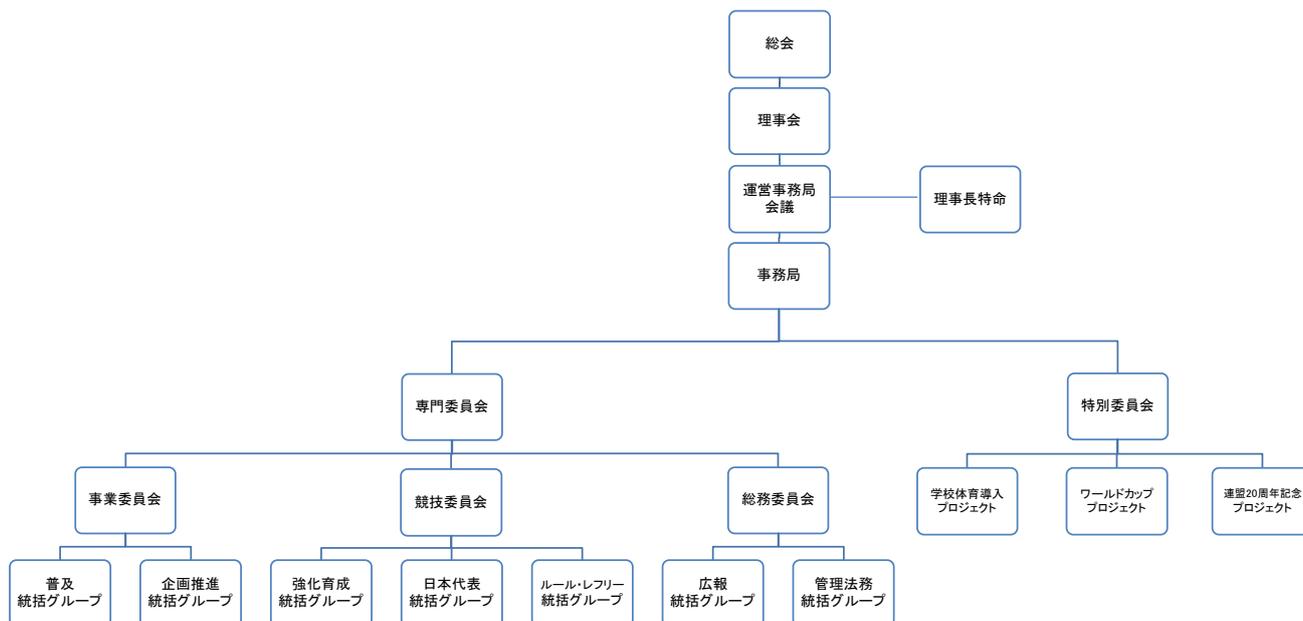
II 事業報告の概要

1. 概況

- (1) 平成 22 年 4 月の法人設立から 8 期目となる年度を終了。
- (2) アジア地域で初の世界大会となる「第 9 回キンボールスポーツ ワールドカップ 2017 東京大会」の準備、実施に注力。
- (3) プレーヤーの育成および日本代表チーム強化をはかる活動に積極的に取り組んだ。特に平成 29 年度は「第 9 回キンボールスポーツ ワールドカップ 2017 東京大会」の男女日本代表チームが地元開催で成果を上げるためにバックアップを行い、男女ともに準優勝の結果を残すことができた。
- (4) 助成事業を積極的に活用した。詳細は次のとおり。
 - 独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成 29 年度スポーツ振興基金助成事業
 - 第 9 回キンボールスポーツ ワールドカップ 2017 東京大会
 - 独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成 29 年度スポーツ振興くじ (toto) 助成事業
 - 1) 第 18 回キンボールスポーツジャパンオープン・フレンドリーカップ
 - ・香川県で 2 回目の全国大会を開催。
 - 2) キンボールスポーツ指導者講習会 2017
 - ・岩手県から沖縄県まで全国計 13 回の指導者講習会を主催開催。
 - 3) 2017 日本キンボールスポーツ連盟講師派遣事業
 - ・東京都から広島県まで全国計 10 回の体験会、講習会に講師派遣。
 - 公益財団法人スポーツ安全協会 平成 29 年度スポーツ普及奨励助成事業
 - 第 18 回キンボールスポーツジャパンオープン・チャンピオンズカップ
 - ・東京都で 8 回目の全国大会を開催。

2. 組織運営

- (1) 日本キンボールスポーツ連盟では新中長期目標の達成をめざし、かつ次世代へつなぐことのできる運営体制づくりの議論を重ねてきた。平成 29 年度の組織のポイントは、普及、強化、基盤整備を柱として、当連盟運営組織の充実および拡大を図り、最前線で指導的立場にある人材を登用することによって、新たな意見を運営に活かすことにあった。また、リーダーシップを発揮できる人材の育成にも力を注いだ。
- (2) 本年度も総会、理事会で決定した事項の実施については運営事務局会議で審議、決定し、その事柄について、委員会（専門委員会、特別委員会）において業務、任務にあたった。また、各委員会、プロジェクトより運営事務局会議に対して各種提案を行い、それに基づいた事業、取組も実施した。



■新中長期目標 6 項目■

■ 学校体育（正課）カリキュラムへの導入

関係省庁、市町村教育委員会等にはたらきかけキンボールスポーツが学校体育の教材として正式導入されることをめざします。

■ 国体ならびに全国規模のスポーツイベントへの積極的参加

国民体育大会デモンストレーション種目として継続参加をめざします。開催地となる都道府県支部連盟の強化と日本連盟の支援を徹底します。

■ 全国 47 都道府県支部設立及び日本スポーツ協会への加盟

全国 47 都道府県すべてに支部を設立することをめざします。未だ支部設立されていない県を中心に連盟主催講習会を行い、普及をすすめます。また、関係者にはたらきかけ支部設立に取り組んでいます（現在 38 都道府県に支部ないし準支部設立）。支部の都道府県スポーツ協会加盟も推進し、日本スポーツ協会加盟団体をめざします。

■ アジアキンボールスポーツ連盟の設立とアジア各国との国際交流推進

平成 23 年（2011 年）の兵庫県宝塚市におけるパンパシフィックカップ開催を契機にアジア諸国に働きかけ、平成 28 年（2016 年）より正式活動を開始いたしました。アジア選手権などキンボールスポーツを通じた国際交流を促進します。

■ 多世代や障がいをもつ人々の参加機会の拡充、交流大会の創設

キンボールスポーツがすべての人々に開かれたスポーツであることをめざします。ルールバリエーションの採用、新たな普及プログラムの開発や関係団体との連携により、誰もが参加しやすい環境づくりに取り組んでいきます。

■ 組織基盤・財政基盤の早期確立による事業の充実

平成 22 年度（2010 年）より日本キンボールスポーツ連盟は一般社団法人に生まれ変わりました。今後より一層の事業の充実のため、制度・組織の見直しを図り基盤整備の充実をめざします。

Ⅲ 事業別報告

1. 指導者、支部養成関連事業

★平成 29 年度データはすべて平成 30 年 3 月 31 日現在のもの

(1) 登録者 (ファン※)

※…ファン：旧サブリーダー (無料登録)、旧サポーター、サポーターを含む任意団体時代からのすべての登録者。

- ・平成 29 年度 新規数 502 名 (平成 28 年度：308 名)
- ・平成 29 年度 総数 計 20,026 名 (平成 28 年度：計 19,524 名)

(2) 普通会员 (サポーター)

- ・平成 29 年度 新規数 323 名 (平成 28 年度：221 名)
- ・平成 29 年度 総数 計 1,253 名 (平成 28 年度：計 1,184 名)

■指導者

(1) リーダー

- ・平成 29 年度 新規数 208 名 (平成 28 年度：141 名)
- ・平成 29 年度 総数 計 563 名 (平成 28 年度：計 575 名)

(2) マスター

- ・平成 29 年度 新規数 14 名 (平成 28 年度：6 名)
- ・平成 29 年度 総数 計 326 名 (平成 28 年度：計 358 名)

(3) グランドマスター

- ・平成 29 年度 新規数 0 名 (平成 28 年度：0 名)
- ・平成 29 年度 総数 計 14 名 (平成 28 年度：計 15 名)

■レフリー

(1) C 級レフリー

- ・平成 29 年度 新規数 96 名 (平成 28 年度：66 名)
- ・平成 29 年度 総数 計 529 名 (平成 28 年度：計 531 名)

(2) B 級レフリー

- ・平成 29 年度 新規数 9 名 (平成 28 年度：4 名)
- ・平成 29 年度 総数 計 33 名 (平成 28 年度：計 30 名)

(3) エグゼクティブ B 級レフリー

- ・平成 29 年度 新規数 1 名 (平成 28 年度：1 名)
- ・平成 29 年度 総数 計 6 名 (平成 28 年度：計 5 名)

(4) A 級レフリー

- ・平成 29 年度 新規数 0 名 (平成 28 年度：0 名)
- ・平成 29 年度 総数 計 8 名 (平成 28 年度：計 7 名)

(5) エグゼクティブ A 級レフリー

- ・平成 29 年度 新規数 0 名 (平成 28 年度：1 名)
- ・平成 29 年度 総数 計 1 名 (平成 28 年度：計 3 名)

■支部 (正会員)

- ・平成 29 年度新規認定支部 なし (平成 28 年度：1 支部)

※平成 29 年度末現在 38 都道府県団体 (36 支部、2 準支部)

2. 主催事業 計 16 事業

(1) 大会主催 3 事業 (4 大会)

①-1 世界大会

【事業名】第9回キンボールスポーツ ワールドカップ 2017 東京大会

【期間】10月30日(月)～11月5日(日)

【場所】東京都中央区 中央区立総合スポーツセンター

【事業内容】国と地域の代表戦。男子部門、女子部門の2部門開催。

【事業実績】12の国と地域(ベルギー、カナダ、中国、チェコ、フランス、香港、韓国、スペイン、スイス、デンマーク、シンガポール、日本)より参加。

男子11チーム(上記参加国のシンガポール除く)、女子11チーム(上記参加国のデンマーク除く)
計22チーム、246名参加。

【備考】ワールドカップ各国選手団と開催地東京都内17小学校(中央区16、荒川区1)の交流事業を実施。小学生8,520名事業参加。

下記、クラブチャンピオンシップ含み、事業総参加数8,963名

運営資金捻出のため、初のクラウドファンディング実施、目標達成。

大会開催時、日本で初の本格的動画Live配信を実施。

①-2 世界大会

【事業名】第3回キンボールスポーツ クラブチャンピオンシップ 2017 東京大会

【期間】11月3日(金祝)、11月5日(日)

【場所】東京都中央区 中央区立総合スポーツセンター

【事業内容】ワールドカップ関連事業の一環として実施。

クラブ対抗戦。アマチュア部門、プロ部門の2部門開催。2部門ともに男女混合(ミックス)。

【事業実績】6つの国と地域(ベルギー、カナダ、ドイツ、フランス、香港、日本)より参加。

アマチュア部門10チーム、プロ部門16チーム、計26チーム、197名参加。

②全国大会

【事業名】第18回キンボールスポーツジャパンオープン・チャンピオンズカップ

【期 日】2月12日(月祝)

【場所】東京都中央区 中央区立総合スポーツセンター

【事業内容】チャンピオンの部・男子、女子の2部門開催。

【事業実績】男子39チーム、女子26チーム、計65チーム、310名参加。

③全国大会

【事業名】第18回キンボールスポーツジャパンオープン・フレンドリーカップ

【期間】9月17日(日)、18日(月祝)

【場所】香川県高松市 高松市総合体育館

【事業内容】フレンドリーの部・ジュニア、チャレンジ、一般およびチャンピオンの部・Over40、混合の5部門開催。

【事業実績】計122チーム、620名参加。

【備考】初めてフレンドリーカップに海外より参加あり。フレンドリーの部・ジュニアに中国より参加。

(2) 講習会主催 13 事業

①A 級レフリー認定事前講習会、A 級レフリー認定試験

【事業回数】1 回

【場所および期間】静岡県裾野市／5 月 4 日、5 日

②B 級レフリー認定試験事前講習会、B 級レフリー認定試験

【事業回数】1 回

【場所および期間】三重県伊賀市／7 月 1 日、2 日

③国際レフリー資格レベルⅢ認定試験

【事業名】第 8 回「世界を学ぶ」キンボールスポーツ講習会 2017

【事業回数】1 回

【場所および期日】東京都中央区／7 月 15 日

【備考】国際キンボールスポーツ連盟より講師 1 名招へい

④指導者講習会

【事業回数】13 回

【事業内容】レベル別指導者講習会、レベル別レフリー講習会

【事業実績】全 13 回計 349 名

3. 派遣事業 計 12 事業

【事業内容】キンボールスポーツ体験の機会提供、指導者、レフリー養成

【事業実績】29 年度指導者派遣 計 12 事業

4. 普及推進関連事業

(1) 支部助成、リーグ助成

【事業内容】

- ①各都道府県連盟に対して、当該都道府県在住を中心とした普通会員所属者数に応じて会費還元金を各都道府県連盟に活動資金として支払う。
- ②支部（正会員である都道府県連盟）が用具購入、大会・講習会開催、その他普及・支部運営活動に関して資金面で補助が必要な場合、理事会に書面を持って申し出る。「支部助成金交付要綱」に基づき理事会または運営事務局会議で審議後、必要に応じて補助・応援体制をとる。
- ③競技としての発展および活性化の目的のために、支部等の主催で行うワールドカップに準じた試合形式のリーグ戦を開催するにあたり、経費の一部を助成する。

【事業実績】

- ①年度報告を終えた 15 道府県連盟に会費還元金の支払を完了。
- ②事業助成に関して、29 年度は次の 2 支部 2 件の助成を実施。
 - ・新潟県キンボールスポーツ連盟「第 10 回新潟ときカップ キンボールスポーツ大会 兼 新潟県連盟創立 10 周年記念大会」への大会助成。
 - ・石川県キンボールスポーツ連盟「第 5 回石川県キンボールスポーツ連盟会長杯」への大会助成。
- ③リーグ助成に関して、29 年度は次の 1 リーグの助成を実施。
 - ・北信越地区リーグ戦実行委員会「第 4 期北信越地区キンボールスポーツリーグ戦」への助成。

(2) 広報

【事業内容】 キンボールスポーツのPR活動

【事業実績】

① 広報誌（会報）の制作、発送。年1回実施。

② ホームページの管理、運営。

事業案内、事業レポート等の掲載。通年実施、年間83回更新。

③ フェイスブックページの管理、運営。

アジア大会、全国大会当日情報をはじめ地域大会、講習会情報発信、地域担当者による事業レポート発信、全国各地の新聞、テレビ、公報の取材情報などを掲載。通年実施、年間137記事掲載。

④ 文部科学省の催しでのパネルおよびボール展示および資料配布。年1回実施。

(3) パートナーシップおよびオフィシャルスポンサー契約

【事業内容】

① パートナーシップ契約：パートナー団体や企業の団体名、ロゴマーク、キャッチコピー等が入ったキンボールを講師派遣講習会や大会において優先使用し、パートナー団体や企業が当連盟の諸活動へ協力、協賛していることを参加者や観戦者等にアピールする。

② パートナーシップ契約：横断幕やポスター掲示、資料の配布などの希望支援スタイルの提供により、パートナー団体をアピールする。

③ オフィシャルスポンサー契約：カテゴリー独占権を有し、連盟ロゴなど企業広告活動において使用することができる。

【事業実績】

① 梅花女子大学（大阪府茨木市）と継続契約。

有限会社アサダコーポレーション（兵庫県神戸市）と新規契約。

② 有限会社両国あんこあられ本舗両国國技堂（東京都墨田区）と継続契約。

③ 株式会社サンラッキー（大阪府大阪市）と継続契約。

(4) グッズ、備品等企画

【事業内容】 キンボールスポーツに関する用具、備品等の企画、制作

【事業実績】 29年度実績 ルールブック、レフリーマニュアル、

ワールドカップロゴ入りボール、ストラップ、バッジ、スポーツバッグ

(5) キンボールスポーツ普及協力

【事業内容】 キンボールスポーツの用具、備品のレンタル

【事業実績】 29年度実績 有償レンタル47件 無償レンタル（学校）25件 レンタル合計72件

5. 団体管理運営事業

(1) 主な諸会議

【事業内容】当連盟運営および活動に関する事項についての審議、検討

【事業実績】

- ①定時社員総会 1回（大阪／6月17日）
- ②理事会 2回（大阪／5月27日、3月17日）
- ③運営事務局会議 6回（大阪／5月27日、7月8日、9月16日、12月16日、2月17日、3月17日）
- ④ワールドカップ実行委員会 8回（大阪／4月8日、5月28日、6月18日、8月26日、10月15日、12月17日 東京／7月17日 香川／9月16日）

(2) 主催事業および役員・指導担当者他の保険加入

【事業内容】主催事業および指導担当者他の保険加入

【事業実績】

- ①年間契約（対象：主催事業／更新：9月）の傷害保険に加入。
- ②会長、副会長、理事長、副理事長、理事、委員長、グループ長、グループメンバー、男女ヘッドコーチ、事務局員のスポーツ安全保険（傷害、賠償責任）31名 加入。
- ③団体賠償責任保険を変更、他団体の保険（スポーツ・文化法人責任保険）に新規加入。

6. 29年度特別事業

(1) ワールドカップ日本代表候補強化事業

【事業内容】ワールドカップ男女日本代表候補選手強化

【事業実績】日本国内にて4月から5月まで、合宿を男女2回実施。

(2) ワールドカップ日本代表チーム強化および大会参加事業

【事業内容】ワールドカップ男女日本代表チーム強化および男女1チームずつの大会参加

【事業実績】日本国内にて6月から10月まで、合宿を男女9回実施。男女1チームずつの大会参加。

【備考】大会名称：第9回キンボールスポーツ ワールドカップ 2017 東京大会

大会結果：	男子の部	女子の部
優勝	カナダ	カナダ
準優勝	日本	日本
第3位	チェコ	フランス

(3) スポーツ推進委員等への普及推進事業

【事業内容】生涯スポーツとして取り入れてもらうため、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブなどに向けて講習会の開催および指導者の派遣を働きかけるため、都道府県、市長村の集り等においてチラシ配布。

【備考】支部と協同して実施。平成27年度よりの継続事業。

(4) 20周年事業の準備事業

【事業内容】 団体設立 20 周年事業（式典、記念誌発行等）の準備

【備 考】

次の事業詳細内容について準備を進めた。

①記念式典および祝賀会の実施

6 月 23 日 会場：コートヤード・マリオット銀座東武ホテル（東京都中央区）

②20 周年記念誌の発行

③20 周年記念ロゴマークの制定 全国での大会・イベント等の印刷物に掲載

④記念 T シャツの作成

⑤その他関連事業